

2年

2年生は、生活科の学習で自分が選んだ野菜を育てています。毎朝の水やりや観察を通して、子供たちは野菜の変化に気付き、成長を喜びながら大切に世話を続けています。

ある日、Aさんが「Bさんの葉っぱに茶色くてんがあるよ!」と伝えていました。知らせを受けたBさんは不安そうな表情を浮かべました。その様子を見たAさんは「どうしたらいいか、一緒に調べよう!」と優しく声を掛けました。自分の野菜だけでなく、友達の野菜にも目を向け、友



達の気持ちに寄り添い、自分から行動する姿に頼もしさを感じました。

野菜を育てる中で、うまくいかないことや予想外の出来事に出会うことがあります。そんなときにこそ子供たちは、友達と力を合わせて課題に向き合い、解決していく力を身に付けていくのだと感じました。野菜と共に心も大きく成長していく子供たちをこれからも楽しみに見守っていきたいと思います。



3年

3年生になり、2か月が経過しました。初めてのクラス替えを経験し、新しい友達との出会いがたくさんありました。始めは少し緊張した様子も見られましたが、今では笑顔で声を掛け合う姿が見られ、学年全体が明るい雰囲気になっています。

先日、今年度2回目の学年集会を行いました。前回は担任が企画しましたが、今回は1組が担当になり、企画や準備、進行まで子供が中心となって行いました。みんなで体を動かすゲームを楽しみ、大いに盛り上がりました。参加した子供たちからは「自分たちが企画する番が楽しみ!」「1組さんみたいに自分たちもやってみたい!」という声がたくさん聞かれ、主体的に活動しようとする意欲の高まりを感じました。



6月の学年集会は2組が担当します。「3年生全員がスマイルでなかよしになろう」という目標を立て、全員が楽しめる集会を企画しています。これからも子供たち一人一人の成長や活躍を楽しみにしながら、温かく見守っていきたいと思います。

5年

運動会の騎馬戦は、「旗取り合戦」としました。例年の騎馬戦からルールを変更したことで、子供たちは、「強い騎馬が勝つ」ではなく「勝った騎馬が強い」という思いをもち、各団でいかにして相手の陣地にある旗を取るかと作戦を考え、実践していました。子供たちの姿で素敵だったことは、休み時間や朝のマイタイムに何度も集まって話し合うだけでなく、「〇〇するのは反則ではないですか」「〇〇するのは作戦としていいですか」

などを教師に相談しながら、勝つための方法を試行錯誤していたことです。教師から伝えられた作戦例をそのまま実行するのではなく、その発想を自分たちで、よりよいものにしようとする姿に感動しました。そこには、攻めの騎馬の「勝ちたい」という思いと、守りの騎馬の「勝たせたい」という思いが詰まっていたのです。叶えたいという強い思いや願いをもつことを通して、子供たちは教師の想像を遥かに超えるほど成長することを実感しました。今後、子供たちがどんな目標をもって活動するのか・・・「運動会が終わってからが大切!」と言われる所以はここにあるのかもしれません。今後のさらなる成長を楽しみにしています!

